

クイズ & アンケート



今月のプレゼントは

志木市商工会 『カッピーハッピー セット』 5名様

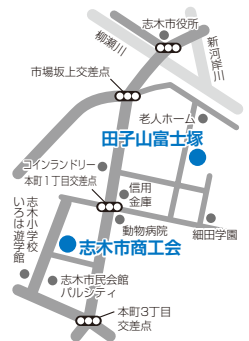


志木市商工会は、商工会法により認可設立された公益性を有する法人です。小規模な企業の経営相談を行い、経営課題の解決を目指しているほか、志木市民まつりなど、地域の催しの運営を行っています。

また、田子山富士案内所を設置して、志木限定のお土産品を販売中です。大安と友引には入山できますので、ぜひ、お出掛けください(田子山富士塚公開の詳細は11ページへ)。



志木市商工会 (本町1-6-30)
8時30分～17時15分
休所日/土・日曜日、祝休日
☎048(471)0049



回答者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。届いた引換券をお店で持参のうえ、プレゼントと交換をしてください。

○ 今月の広報紙クイズ

Q 和舟の船頭は？ (先月号の答え: 広報)

○○○○○ ○ 船頭

ヒント… 2・3ページ

○ アンケート

Q1 今月号で良かった内容や写真を教えてください。

Q2 取り上げて欲しい内容や企画を教えてください。

Q3 広報紙に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

— 応募方法

次の①～⑥を記入(必須)のうえ、ハガキ、お便り、メール、または申込フォームQRコードからご応募ください。

- ①クイズの○に入る言葉、②アンケートの回答、
- ③住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号

<宛先> 〒353-8501 志木市中宗岡1-1-1
志木市役所秘書広報課「広報しき3月号」係
☒ koho@city.shiki.lg.jp

<締切> 3月20日(水)※消印有効

※プレゼントの受渡しにあたり、当選者の名前や住所の一部をプレゼント提供者へお伝えすることを予めご了承ください。



▶申込フォーム



志木市長 香川 武文

♪とんとんとんからりと〜…♪

まだまだ寒暖差の激しい日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

ところで、皆さんは町内会に加入していますか？

町内会は「共助の要」として、地域を守る防災や防犯活動、生活情報を届ける活動、助け合いや人と人が交流を深めるためのイベントなど、地域の特性を生かしながら魅力ある活動を行っています。

先月2月4日に本町1丁目で火災が発生した際、私は市内で合会に出ておりましたが、出席していた皆さんも火災の一報が入ると同時に、手分けをして町内会の役員に連絡を取り、「～さんの家は大丈夫か?」「～さんは高齢の方だぞ!」など、状況確認や安否確認を積極的に行っていました。

合会を中座し現地に駆けつけると、消防や消防団が消火活動をする中、町内会の役員の皆さんが、日頃のお付き合いから把握している情報や、ご家族の様子について消防本部と情報共有するなど必死になって活躍されたこともあり、幸いにして犠牲者や負傷者が出ることはありませんでした。

平成26年版の防災白書によると、阪神淡路大震災では約77%の人が近隣住民などに助けられたとの調査結果がでており、

本市の火災からも、普段からのご近所付き合いが大切であると再認識させられます。

ご近所付き合いの希薄化が叫ばれる昨今、市内37町内会の加入率は57%となっています。一方、内閣府が行っている世論調査では、67.7%の人が「地域での付き合いが必要」と回答しており、また、住生活に関する世論調査では、86.1%の人が「地域との交流・つながりを持ちたい」と回答しています。町内会加入率と世論調査数値との乖離を考えると、まだまだ町内会加入率の向上の可能性を探ることができそうです。

近年の自然災害などにより、町内会活動における防災活動が注目されていることから、今年の9月には、すべての町内会が参加する市民総合防災訓練を予定しています。大規模災害時には、行政がすべてに支援の手を差し伸べるのが難しくなると予測され、共助を担う町内会が主体となり、日頃から意識を高めていくことが、大変重要です。市民総合防災訓練では、町内会が主体となり、避難所単位でそれぞれの状況に合わせた訓練メニューを計画し、実施していく予定です。



▲前回の総合防災訓練の様子

「♪とんとんとんからりと隣組 地震や雷火事どろぼう 互いに役立つ用心棒 助けられたり助けたり」「とんとんとんからりと隣組 何軒あろうと一所帯 ころは一つの屋根の月纏められたり纏めたり」昭和初期の流行歌「隣組」の一節。隣組制度がなくなった今、忘れられかけている町内会の大切さが、ここにある気がしています。